

## 「鳥取・島根広域連携協働事業」の審査基準

審査項目及び配点	審査の視点
提案事業の目的・目標  (10点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両県の地域課題の解決を目的・目標としているか</li> <li>・その目的・目標は明確かつ妥当か</li> <li>・公共性・公益性が高いか</li> </ul>
両県の連携効果  (20点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両県の連携強化、県境を越えたNPO等の連携促進につながるか</li> <li>・両県が連携することによって、単独で行うよりも高い相乗効果が上げられるか</li> <li>・両県の地域社会への貢献が同程度に期待されるか</li> </ul>
協働の相乗効果  (20点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案団体と行政とが協働することによって、単独で行うよりもより高い相乗効果が上げられるか</li> </ul>
団体と行政の役割分担、スケジュール  (10点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案団体と行政の役割分担は明確かつ妥当か</li> <li>・事業実施のスケジュールは適正かつ妥当か</li> </ul>
提案事業の先進性・実効性  (10点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創意工夫が凝らされ、先進性を持っているか</li> <li>・両県の官民相互の連携促進にモデル性を有しているか</li> <li>・効果的で具体性があり、実行可能なものか</li> </ul>
団体の事業遂行能力、予算の妥当性  (10点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案団体自らが、事業を実施するか</li> <li>・提案団体には、事業を練り上げて遂行していく能力があるか</li> <li>・予算規模・内容は妥当なものであって、参加者負担金などの財源は適当か</li> </ul>
地域自治力の向上、事業実施後の継続性  (10点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の主体的な取り組みとなり地域自治力の向上に繋がるか</li> <li>・提案団体は、助成終了後も事業を継続（展開）していく方策があるか</li> </ul>
プレゼンテーション  (10点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションにおいて、事業を的確に熱意を持って説明したか</li> </ul>
合計点(100点)	